

水稻病害虫発生調査結果

第3号 <9月8日発行>

兵庫県農業共済組合・たつの市・太子町

兵庫西農業協同組合・龍野農業改良普及センター

1 病害虫の発生状況

(6カ所調査による平均 9月4日調査、昨年は9月5日調査)

	ヒメトビ ウンカ (頭)	セジロ ウンカ (頭)	トビイロ ウンカ (頭)	ヨコバイ 類 (頭)	カメムシ 類 (頭)	縞葉枯 病 (%)	紋枯 病 (%)	いもち 病 (%)
令和5年	0.78	0.27	0.0	0.0	0.13	2.0	6.0	4.0
昨年	1.3	1.2	0.0	0.0	0.03	0.0	0.2	0.0

ウンカ類、ヨコバイ類、カメムシ類は、株当たり虫数、縞葉枯病・紋枯病・いもち病は発生株率(%)

- ・紋枯病・縞葉枯病：各圃場で発生が見られました。発生の程度はやや多いです。
- ・カメムシ類：一部の圃場で発生が見られました。発生の程度はやや多いです。
- ・トビイロウンカ：発生は見られませんでした。
- ・ヒメトビウンカ、セジロウンカ：各圃場で発生が見られました。発生の程度はやや多いです。

【近畿地方向こう1か月(9月2日～10月3日)の天候の見通し】(大阪管区気象台発表)

向こう1か月の天気は、平年に比べ、晴れの日が少ないでしょう。

平均気温は、高い確率80%です。

降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。

日照時間は、平年並みまたは少ない確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目～2週目、高い確率80%・3～4週目、高い確率60%です。

2 病害虫防除のポイント等

ウンカ類、カメムシ類の発生がやや多い圃場が見受けられました。ヒメトビウンカは、縞葉枯病の発生にもつながります。発生の抑制については、周辺の保全管理圃場等を含めた雑草防除が大切になりますので、栽培暦等を参考に、適切な時期の防除をお願いします。

斑点米カメムシ類については、近年、全国的に増加傾向にあり、特に高温の年に多く発生し、幼虫・成虫ともに稲の穂から吸汁し、斑点米の混入や穂が実らない「青立ち症」や屑米が多くなるなどの被害を発生させます。

対策として、乳熟期での防除が効果的で、出穂後10日～14日間での本田防除が有効です。

この情報は、兵庫県農業共済組合ホームページでも確認できます。



クモヘリカメムシ



安心のネットワーク
NOSAIひょうご

NOSAIひょうご 検索

(<http://www.nosai-hyogo.or.jp/>)

農薬等は JA 兵庫西の 2023 年度水稻栽培暦を参考にしてください